

平成22年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A	取組 名称	自治公民館の活動展開の今日的課題について 住民の地域活動ニーズと結びついた公民館活動づくり
研究代表者：		公共政策学部 (研究科)	教授： 築山 崇
研究担当者： 京都府立大学 (マーレー 寛子) 外部分担者・協力者 (与謝野町温江地区公民館主事 青木順一氏、与謝野町教育委員会今井俊郎氏他)			
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名) 与謝野町教育委員会、同中央公民館、同温江地区、男山地区公民館など			
【研究活動の要約】			
<p>今日、地域住民の暮らしにかかわる課題に、住民と行政が協働して取り組む必要性がたかまっている。その際大事なのが、住民の主体性であり、その主体性を支える学習活動である。また、社会教育施設としての公民館に、福祉や環境など地域課題に取り組む住民の地域活動の総合的拠点としての役割が期待されるようになっている。本研究は、このような社会状況を背景に、与謝野町で取り組まれている地区公民館活動の活性化事業に研究的にかかわりつつ、住民のワークショップなどを通じて実際の活動の支援にも取り組んだ。また、学生の地域学習を結びつけることで、住民が地域資源を再発見していくきっかけづくりの面でも一定の貢献ができた。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>幸い、1年間の取り組みによって、地区公民館活動に取り組む地域の活力が従来にも増して高まってきた。それは、地区公民館での新たな活動の発足や、既存事業における工夫などに現れており、何より、活動の中心的な担い手である公民館長・主事、自治組織の長などが、楽しみながら意欲的に取り組んでいる姿が見られることが成果といえよう。</p> <p>また、社会教育を中心にした行政の担当者が、中期的な展望のもとに、住民の主体的な地域活動を後押しする行政としての支援の在り方を探り、新たに「公民館活動の手引」の作成を計画していることなどにも、この間の取り組みの成果が反映している。</p>			
【研究成果の還元】			
<p>平成22年12月12日 京都生涯学習セミナーにおいて報告 築山 崇 「公的」社会教育のゆくえ～「新しい公共」と地域の再編 今井 俊郎 地区公民館活動推進事業について 報告書 『自治公民館の活動展開の今日的課題について』 (府大図書館で閲覧可)</p>			
【お問い合わせ先】			
<p>公共政策学部 生涯学習・社会教育研究室 教授 築山 崇 Tel: 075-703-5325 E-mail: t_tsuki@kpu.ac.jp</p>			

参考（イメージ図、活動写真等）

平成 22 年 12 月 6 日のワークショップの様子が、朝日新聞（平成 23 年 1 月 4 日朝刊）に掲載された。